

# ボランティアセンター

VOL.10

## 活動報告



令和7年8月26日・9月2日の両日、福祉センターで開催し延べ29名が受講されました。

今までとは違う角度で傾聴を学びたいという目的から今回、初めてNPO法人パートナーアンドリスニングアソシエーション代表の松尾隆義氏を講師に招きました。



NPO 法人 P.L.A.  
代表 松尾隆義 氏



▲パターンを変えて話し手と聞き手役を実演



▲話しやすい距離間を模索

### NPO 法人 P.L.A. について

2005年に発足。傾聴の実践や指導に経験豊富な講師で構成されている。東京を拠点に、社会福祉協議会や行政、企業からの傾聴講座の依頼を受け実施支援している。

令和7年度  
傾聴ボランティア  
基礎講座  
開催しました



1日目は、2人1組でロールプレイングを行い、聞き手役、話し手役の立場で交互に、どのように感じるか意見を出し合いました。2日目は、施設等で認知症者に傾聴するケースが多いということで、当事者はどんな風に聞こえているのかについて学びました。今回の講座を活かして家庭や職場でも傾聴モード時間を作るように心がけていただきたいと思います。



▲1日目・自己紹介の様子



▲2日目・グループワークの様子

村内で活動している傾聴ボランティア「フ・レンド」のメンバーにも参加していただきました。

メンバーからは、個人宅と施設での傾聴の仕方の違いについてや傾聴時、感極まり話し手の前で泣いてしまった場合どのように対処したらいいのかという質問がありました。

松尾講師は、質問の1つ1つに注意点を交え、丁寧に回答をいただいたので、今後の活動の参考になりました。